

## 立命化友会「第4回特別企画セミナー」開催のご案内

拝啓

深秋の候、立命化友会会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は各種の企画運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第4回目の「特別企画セミナー」の開催要項が決まりましたので、ここにご案内申し上げます。

本年度は、今春 OIC に新しく開設された立命館大学総合心理学部で、知覚心理学を専門にご研究されている北岡明佳教授をお招きして、日常起こりうるさまざまな角度から見た“錯視の話題”をテーマにご講演をお願いすることになりました。先生はこれまで多くの学会賞等の受賞を始め、著書、講演も多く、現在、第一線でご活躍中であります。また、長年にわたって文学部教授を歴任され、教育、研究に多大な業績を残されておられることはご周知の通りであります。

今回のご講演は、先生がご専門とされている錯視の実験心理学的研究と錯視デザインの創作をもとに、我々の身近にある錯視やだまし絵の話題を提供していただける大変興味深い内容となっております。先生がウェブページで開設された“北岡明佳の錯視のページ”にも多くのアクセスがありますので、ぜひご覧ください。

皆様お誘いあわせの上、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

### 「特別企画セミナーのご案内」

演 題：「錯視の話題」

講 師：北岡 明佳氏（立命館大学・総合心理学部 教授）

日 時：2017年2月26日（日） 15：30-16：40（終了後、懇親会を開催いたします）

会 場：京都タワーホテル 8階 桜寿・寿洛の間

京都市下京区烏丸通り七条下ル（JR京都駅北）TEL：075-361-3222

参加費：無料（ただし懇親会にご参加の場合は会費 6,000 円）

参加のお申し込みは同封の申込書による F A X、  
もしくはメールにて下記立命化友会事務局までお願いします。  
多数のご参加をお待ちしています。

立命化友会事務局

立命館大学びわこ・くさつキャンパス内

TEL：077-561-2658（直） 内線：8046

080-3240-9631（事務局用携帯）

FAX：077-561-2659

E-mail：[kayukai@st.ritsumei.ac.jp](mailto:kayukai@st.ritsumei.ac.jp)

# 錯視の話題

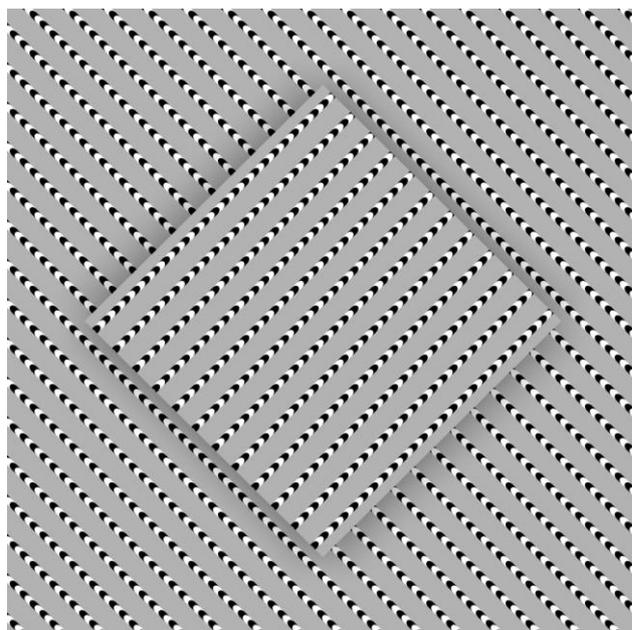
北岡明佳(立命館大学総合心理学部)



錯視やだまし絵の話題を提供したいと思います。たとえば、私は、静止画が動いて見える錯視の研究では、現在知られている錯視の半分以上の発見に貢献しています。

## 略歴

1961年 高知県生まれ  
1984年 筑波大学第二学群生物学類卒業  
1991年 筑波大学大学院心理学研究科修了  
(教育学博士)  
1991年～2001年 東京都神経科学総合研究所  
勤務(神経生理学)  
2001年～2006年 立命館大学文学部助教授  
2006年～2016年 立命館大学文学部教授  
2016年～ 立命館大学総合心理学部教授



現在の専門は知覚心理学。特に、錯視の実験心理学的研究と、錯視デザインの創作を得意としている。2002年に開設したウェブページ「北岡明佳の錯視のページ」<sup>1</sup>には、日本語版・英語版ともに多くのアクセスがある。2006年、第9回 ロレアル 色の科学と芸術賞の金賞を受賞(関連記事)。2007年、日本認知心理学会から第3回独創賞を受賞(関連記事)。著書に、「トリック・アイズ」シリーズ(2002～2013年、カンゼン)、「現代を読み解く心理学」(2005年、丸善)、「だまされる視覚 錯視の楽しみ方」(2007年、化学同人)、「錯視入門」(2010年、朝倉書店)がある。また、ニュートンムック別冊「脳はなぜだまされるのか? 錯視完全図解」(2007年)・「錯視と錯覚の科学 目の錯覚はなぜおきるのか?」(2013年)(いずれもニュートンプレス)や別冊日経サイエンス 174 「知覚は幻 ラマチャンドランが語る錯覚の脳科学」(2010年)・別冊日経サイエンス 198「脳が生み出すイリュージョン 神経科学が解き明かす錯視の世界」(2014年)(いずれも日経サイエンス社)の監修を行なった。錯視コンテスト(2009年～)の審査委員長を務めている。2013年には、レディ・ガガのアルバム『アート・ポップ』のCDのインサイドデザインに錯視デザイン『ガンガゼ』が採用された。全国各地で多くの講演を行なっている。愛知県岡崎市のご当地キャラ『オカザえもん』のファンで、2015年には名古屋市科学館とおかざき世界子ども美術博物館において、オカザえもんと対談する形式の講演を行なった。

<sup>1</sup> <http://www.ritsumeai.ac.jp/~akitaoka/>